

2010年8月6日(金)

第一三共ヘルスケア株式会社

「新三共胃腸薬」から「第一三共胃腸薬」に、製品名称を変更

第一三共ヘルスケア株式会社（本社：東京都中央区、社長：高橋利夫）は、「新三共胃腸薬」シリーズの製品名称を企業名に合わせ、「第一三共胃腸薬」として2010年8月上旬から順次出荷します。

なお、各製品名称に伴うパッケージデザイン以外の変更はございません。



「新三共胃腸薬」シリーズは消化酵素タカヂアスターゼをベースに、食べすぎ・胃もたれなどの胃の症状に優れた効果を発揮するOTC胃腸薬ブランドです。1957年に発売し、近年でもOTC胃腸薬市場でのシェアを拡大するなど、お客様から根強い支持をいただいております。引き続き、新たな製品名称でより多くのお客様から信頼される製品となるよう努めてまいります。

対象製品

<変更前>

新三共胃腸薬〔細粒〕
新三共胃腸薬〔錠剤〕
新三共胃腸薬 プラス 細粒
新三共胃腸薬 プラス 錠剤
新三共胃腸薬グリーン 微粒s
新三共胃腸薬グリーン 錠

<変更後>

第一三共胃腸薬〔細粒〕
第一三共胃腸薬〔錠剤〕
第一三共胃腸薬プラス細粒
第一三共胃腸薬プラス錠剤
第一三共胃腸薬グリーン微粒
第一三共胃腸薬グリーン錠

〔補足〕

“タカヂアスターゼ”とは

“タカヂアスターゼ”は、旧三共株式会社の初代社長である高峰譲吉がコウジカビから発見した糖質の消化酵素です。“タカヂアスターゼ”の名前は夏目漱石著「吾輩は猫である」にも登場するなど、胃腸薬の代名詞ともなりました。

なお、現在の「第一三共胃腸薬」・「第一三共胃腸薬プラス」に配合している“タカヂアスターゼN1”は、糖質だけでなくタンパク質の消化力も併せ持つ消化酵素成分です。